

53 クロヨシノボリ
Rhinogobius brunneus

(ハゼ科)

兵庫県ランク:要調査
環境省ランク:-

種の概要

全長7cm程度。河川の中・上流域の流れが緩やかな場所に生息する。小河川に生息する傾向がある。水生昆虫や付着藻類を食べる雑食性。繁殖期は5～7月頃で、雄が石の下に巣穴を掘って雌を呼び込み、巣の天井に産卵させ、卵を保護する。両側回遊性の生活史を持ち、孵化稚魚はすぐに降海し2～3か月海で暮らした後に河川に遡上して成長する。国内では秋田県及び千葉県以南の本州、四国、九州、南西諸島に分布する。



県内における生息状況及びその他特記事項

規模の小さい河川を中心に生息する種であり、県内では日本海側、及び淡路島の小規模河川を中心に分布している。一方で、瀬戸内海側の河川や日本海側でも大河川では確認されていない。本種が生息する小規模河川は、ひょうごの川・自然環境調査を代表とする大規模な魚類相調査では調査対象になりにくく、県内の生息状況についてさらなる情報の蓄積が求められる。

写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

保護上の留意点

流程の短い小河川を中心に生息する種であり、生息が知られないままに小規模工事等の人為的な改変を受け、生息環境が悪化する恐れがある。また、両側回遊性の生活史を持つことから、河川横断工作物による稚魚の遡上経路の阻害を防ぐ必要がある。

県内分布

豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

